

脱炭素・GREEN×EXPO推進・
みどり環境・資源循環委員会
令和 7 年 12 月 15 日
みどり環境局

市第66号議案 動物園及び公園の指定管理者の指定

1. 概要

- ・横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会を開催し、動物園及び公園の指定管理者の候補者について、次のとおり選定しました。
- ・地方自治法第244条の2第6項の規定により、当該指定管理者の指定を行います。

施設の名称	横浜市立よこはま動物園 横浜市立野毛山動物園及び野毛山公園 横浜市立金沢動物園及び金沢自然公園
指定管理者	公益財団法人横浜市緑の協会 代表者 公益財団法人横浜市緑の協会 理事長 橋本 健 所在地 中区日本大通58番地
指定の期間	令和8年4月1日から令和18年3月31日まで
選定の方法	非公募による選定

2. 選定の経過

(1) 横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会の構成

学識経験者、専門分野の有識者等により構成

(2) 選定経過

ア 応募要項等の公表

令和7年4月14日

イ 応募書類の受付

6月11日から6月13日まで

ウ 書類審査及び面接審査

8月4日

(3) 審査について

- ・ 指定管理者の候補者の選定にあたっては、団体の提案書に対する書類審査及び面接審査を実施しました。
- ・ 面接審査では応募団体によるプレゼンテーション及び選定評価委員会による質疑を実施しました。
- ・ いずれも通過基準を満たしたため、指定管理者の候補者として選定しました。

要求資料一覧

- 1 横浜市立動物園等指定管理者選定に係る提案書
- 2 選定評価の点数の内訳
- 3 横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会議事録
(R7年度分 第一回、第二回)
- 4 (1) 動物園の入園者数の推移 (10年間)
- 4 (2) 動物園の収支状況の推移 (10年間)
- 5 令和6年度横浜市立動物園等事業報告書
- 6 現在の指定管理料と新たな指定管理料の上限額との差額とその内訳
- 7 繁殖センターの現在の体制と指定管理後の体制

要求資料1 「横浜市立動物園等指定管理者選定に係る提案書」（要約）

応募団体からの提案における新たな取組等

- ・「豊かな地球を未来へ引き継ぐために社会を変えていく動物園」をビジョンとして掲げ、生物多様性保全の拠点としての3動物園等の価値を高めていく。
- ・3動物園等で出会える動植物や生息環境の現状を伝えることで、人と自然のつながりや地球環境を守ることの大切さを知り、持続可能な社会に向けた行動のきっかけとする。
- ・GREEN×EXPO 2027の機運醸成の推進として、「生物多様性の保全」等をテーマとするイベントを開催し、市民の興味喚起と相互誘客を図る。
- ・誰もが楽しめる環境の充実に向けた取組として、障害のある方など多様な来園者への対応を進めるほか、インバウンドを含む外国語対応を推進する。
- ・新たに集客プロモーション担当部門を新設し、集客に注力した営業活動等を実践する。ファンドレイジングの取組として、寄附を集める工夫を実施する。

要求資料2 「選定評価の点数の内訳」

団体の得点

	満点	団体の得点		通過基準
一次審査	200点満点	156.0点	78.0%	60%
二次審査	100点満点	69.2点	69.2%	60%

※おおむね問題なく、適切な提案内容である（一部優れた内容を含む）との結果でした。

	各項目の採点の目安
10割	優れた提案内容である
8割	適切であり、優れた内容を含む
6割	おおむね問題なく、適切な提案内容である
4割	問題があり、懸念がある
2割	重大な問題があり、大きな懸念がある
点数なし	致命的な問題があり、不適切である

要求資料2 「選定評価の点数の内訳」

審査項目	一次審査			二次審査		
	配点	得点		配点	得点	
1 適正な管理運営の基本事項	20点	14.6	73.0%	10点	6.2	62.0%
2 管理運営体制・方法	40点	29.6	74.0%	15点	10	66.7%
3 動物園等運営の取組	85点	70.4	82.8%	35点	26.2	74.9%
4 維持管理	25点	19.6	78.4%	10点	7.2	72.0%
5 収支計画	15点	9.8	65.3%	20点	12.8	64.0%
6 全体評価	15点	12	80.0%	10点	6.8	68.0%
合計 (加減点項目を除く)	200点	156.0	78.0%	100点	69.2	69.2%

要求資料3

「横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会議事録」要約

横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会での意見

（1）肯定的な意見

- ・現場のオペレーションには蓄積がある。
- ・ズーラシアは大規模な地理学展示の成功例で、すごくいい動物園だと思う。
- ・繁殖センターも日本でもトップクラスの施設。

（2）課題を含む意見

- ・提案内容について、引き続き市と密にコミュニケーションを取り、運営しながらブラッシュアップしていくことが重要。
- ・収益事業の增收を図り、収支の改善をすべき。
- ・10年後、20年後を見据えてマネジメントを行い、現場の運用につなげることが必要。

要求資料4(1)「動物園の入園者数の推移」（10年間）

年度	よこはま動物園	野毛山動物園	金沢動物園	合計
H27	1,216,132	1,095,448	287,099	2,598,679
H28	1,086,486	844,401	305,858	2,236,745
H29	1,149,654	721,131	321,990	2,192,775
H30	1,077,317	638,518	299,098	2,014,933
R1	982,820	548,927	246,982	1,778,729
R2	754,247	390,886	263,224	1,408,357
R3	1,032,780	500,925	322,346	1,856,051
R4	1,027,968	517,802	288,689	1,834,459
R5	1,007,874	486,309	259,242	1,753,425
R6	1,003,288	434,262	257,448	1,694,998

単位：人

※令和元年度、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休園や入場人数の制限を実施。

要求資料4(2)「動物園の収支状況の推移（10年間）」

年度	H27	H28	H29	H30	R1
収入	2,875,712	2,827,043	2,844,656	2,864,798	2,895,110
指定管理料	2,237,672	2,241,518	2,240,020	2,276,731	2,390,148
利用料金	559,003	499,987	527,732	482,871	436,032
支出	2,860,079	2,847,422	2,832,210	3,048,389	2,921,291
収支	15,633	-20,379	12,446	-183,591	-26,181

年度	R2	R3	R4	R5	R6
収入	2,913,202	2,888,591	2,957,041	2,993,333	3,060,047
指定管理料	2,489,046	2,341,573	2,406,848	2,442,329	2,521,199
利用料金	358,174	472,535	462,653	446,632	445,476
支出	2,821,036	3,076,953	3,108,802	3,191,366	3,304,078
収支	92,166	-188,362	-151,761	-198,033	-244,031

(単位：千円)

要求資料5 「令和6年度横浜市立動物園等事業報告書」要約

- ・記録的な夏の猛暑、野毛山動物園のリニューアルに伴うふれあい休止等の影響で、来園者数が伸び悩んだ。講演会やイベント等、様々な企画を行い、お楽しみいただいた。
- ・来園者・非来園者を対象としたブランドの認知や傾向についての委託調査を実施。
- ・ツシマヤマネコの人工授精への取組、繁殖センターとの共同研究により糞中ステロイドホルモンの測定、妊娠判定などを行い、繁殖に向けた取組を計画的に進めた。
- ・収入増加の取組として、広報・イベント等の集客対策のほか、新規の企業協賛の獲得を進めた。新たな募金箱やカプセルトイの設置、返礼品付き寄付等の取組を開始。
- ・経費削減のため、3園一体での共同発注や発注方法等の見直しを実施。

要求資料6 「現在の指定管理料と新たな指定管理料の上限額との差額とその内訳」

単位：千円	令和7年度 予算額	令和8年度 上限額	差額
指定管理料	2,397,341	2,872,000	474,659

差額の内訳	金額（千円）
繁殖センターの指定管理化に伴う増	123,597
物価高騰等の社会情勢の変化に応じた対応による増	351,062
合計	474,659

要求資料7 「繁殖センターの現在の体制と指定管理後の体制」

	現在	指定管理後 ※
係長	1人	1人
係員	5人	5人

※「資料1 提案書」の人員配置計画
提案時点での想定であり、今後、指定管理者が精査します。

3. 課題と今後の方向性

選定評価委員会でいただいた意見等を踏まえ、改善を進めていきます。

(1) これから動物園に求められるもの

●観光拠点としての魅力、集客の強化

- ・野毛山動物園のリニューアルなど、体験型プログラムの強化
- ・動物の世界・生息環境にいるような展示スペース・園内環境
- ・動物を間近で体感できるバックヤードツアー（飼育・えさやり体験）
- ・集客プロモーションの強化

●地球環境を守ることの大切さを伝える

- ・ネイチャーポジティブに向けた行動のきっかけとなるような環境教育
- ・GREEN×EXPO 2027の機運醸成、相互誘客の推進

(2) 安定的な経営

賃金スライドなど本市全体としての制度が導入されることに加え、有料コンテンツ・イベントの充実や、寄附などの応援・支援をいただく取組の拡充など、多様な収入源の確保を進め、持続可能な経営を目指していきます。